

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1088	1088	公民館活動経費	01	01	一般会計
			10	10	教育費
基本施策	33	だれもが生きがいを有する機会をつくる	05	05	社会教育費
			05	05	公民館費
担当部課名		中央公民館	102	102	公民館活動経費
作成者氏名	奥井平和	連絡先	22-9801	01	公民館活動経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	公民館講座・教室を受講した市民	市民の学習意欲に応えるとともに、講座受講等で自主活動が喚起される。					
本年度事業内容	公民館事業推進のための事務補助員の雇用。青少年健全育成事業。ふるさと学習会の開催。子どもセンター事業。市民の学習意欲に応えるために、公民館講座や教室を開催する。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	社会教育法・伊賀市公民館条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.25	1.25	1.25
	人件費合計(A)	9,000	9,000	9,000
②支出内訳(千円)	事業費(B)	7,186	7,131	6,901
	委託料	2,300	2,070	1,840
	事業推進報償	1,966	2,055	2,055
	その他	2,920	3,006	3,006
合計(A+B)		16,186	16,131	15,901
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
その他特財				
一般財源	16,186	16,131	15,901	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
子どもセンター「わくわくいがっこ通信」配布箇所数	施設	96	100	110			
子どもセンター「わくわくいがっこ通信」の発行数	部	10,000	10,000	10,500			
公民館利用延べ人数	人	13,455	13,800	14,000			
公民館利用延べ回数	回	678	685	691			
講座・教室の開催回数	回	57	58	58			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
文学講座への参加者数	魅力ある講座を開設すれば受講希望者が増える。	人	126 目標 (100)	130	130
ふるさと学習への参加者	学習内容(郷土の産業・伝統文化をともし)を充実すれば参加者が	人	89 目標 (100)	100	100

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

公民館活動は講座の参加者は増加してきたが、施設の収容人員の関係で定員いっぱいの状況になっているものもある。また、青少年育成事業・ふるさと学習会では、合併後対象域が広がった関係で、若干参加者が増加してきた。一方、指導者が高齢傾向にあり、若返りが急がれる。
--

評価	必要性	4	従来より公民館講座は希望者が多く、施設の関係で定員を決めなければならない状態が今後、旧郡部からの参加者増が見込まれます。このことは、他の公民館事業も同様で市民の学習要求に答えなければならない。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	3		
				B